

みずほCustomer Desk Report 2022/02/16 号(As of 2022/02/15)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	115.43
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	115.54	1.1306	130.63	1.3537	0.7132
SYD-NY High	115.88	1.1368	131.52	1.3567	0.7156
SYD-NY Low	115.26	1.1304	130.44	1.3488	0.7103
NY 5:00 PM	115.60	1.1359	131.33	1.3542	0.7151
NY DOW	34,988.84	422.67	日本2年債	-0.0300	0.00bp
NASDAQ	14,139.76	348.84	日本10年債	0.2100	▲1.00bp
S&P	4,471.07	69.40	米国2年債	1.5764	0.71bp
日経平均	26,865.19	▲ 214.40	米国5年債	1.9360	2.97bp
TOPIX	1,914.70	▲ 15.95	米国10年債	2.0425	5.76bp
シカゴ日経先物	27,460.00	395.00	独10年債	0.3085	3.80bp
ロンドンFT	7,608.92	77.33	英10年債	1.5800	▲0.10bp
DAX	15,412.71	298.74	豪10年債	2.1700	4.20bp
ハンセン指数	24,355.71	▲ 200.86	USDJPY 1M Vol	6.50	▲0.62%
上海総合	3,446.09	17.21	USDJPY 3M Vol	6.93	▲0.33%
NY金	1,856.20	▲ 13.20	USDJPY 6M Vol	7.04	▲0.23%
WTI	92.07	▲ 3.39	USDJPY 1M 25RR	-1.25	Yen Call Over
CRB指数	262.070	▲3.36	EURJPY 3M Vol	8.45	▲0.53%
ドルインデックス	95.99	▲0.38	EURJPY 6M Vol	8.41	▲0.35%

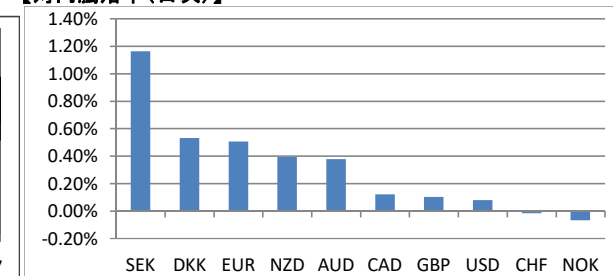
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月15日	08:50	日 GDP(前期比/前年比)・速報	4Q 1.3%/5.4%	1.5%/6%
	08:50	日 GDPデフレーター(前年比)・速報	4Q P -1.3%	-1.3%
	19:00	欧 GDP(前期比/前年比)・速報	4Q P 0.3%/4.6%	0.3%/4.6%
	22:30	米 PPI(前月比/前年比)	1月 1%/9.7%	0.5%/9.1%
	22:30	米 NY連銀製造業景気指数	2月 3.1	12

【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月16日	16:00	英 CPI(前月比/前年比)	1月 -0.2%/5.4%	0.5%/5.4%
	19:00	欧 鉱工業生産(季調済/前月比)	12月 0.3%	2.3%
	22:30	米 小売売上高速報(前月比)	1月 2.0%	-1.9%
	22:30	米 小売売上高(除自動車/前月比)	1月 0.9%	-2.3%
	23:15	米 鉱工業生産(前月比)	1月 0.5%	-0.1%
2月17日	04:00	米 FOMC議事要旨	-	1月25-26日開催分

【ドル円相場】

【対円騰落率(日次)】

【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	115.20-116.20	1.1320-1.1420	131.00-132.00

【マーケット・インプレッション】

東京時間のドル円は115.54レベルでオープン。しばらくはウクライナ情勢を睨み、リスク回避の円買いが進む場面があったものの、欧州時間入りのタイミングでウクライナ軍が一部帰還したと伝わった。緊張緩和から一時115.70まで上昇。また、欧州通貨や資源国通貨に対するドル買いが強まり、一時115.88を付けた。ただ、バイデン米大統領がロシアによるウクライナ侵攻の可能性が残っていると述べたことでリスクオフムードが再び意識されたことを受け、115.60でクローズ。本日のドル円は115後半を中心としたレンジ相場を予想。ウクライナ情勢の先行きを注視しつつ、本日発表される1月FOMC議事要旨や米1月小売売上高などの経済指標の結果を受けた金利や株価の動向を見ながらの、方向感の出にくい展開が予想される。

東京	東京時間のドル円は115.54レベルでオープン。ウクライナ情勢の緊迫化は変わらず上値の重い推移が継続。115.55を上値に115.29まで下値を下げた。その後の戻りも鈍く115.37レベルで海外時間へ。
ロンドン	ロンドン時間のドル円は、115.37レベルでオープン。朝方にモスクワに拠点を置く非政府系通信社から「ロシア軍の演習終了後一部の軍隊が基地に帰る動き」という報道が流れるとリスクオフの動きがドル円買いの円売りが進んだ。一時115.7付近まで上昇し、115.62レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	ニューヨーク時間のドル円は115.62レベルでオープン。朝方は米1月PPIが発表され、予想を上振れるもドル円の反応は限定的だったが、米株の堅調推移や米長期金利が2%台でしっかり推移していることがドル円の下値をサポート。その後、特段ヘッドラインは見当たらなかったが、欧州通貨や資源国通貨に対するドル買いが強まり、ドル円にも波及した結果、高値115.88をつける。午後は米株高債券安の流れが一巡し、115.60付近でもみ合い。15時半にはバイデン米大統領がウクライナ情勢に関する会見が予定されていたが、特段サプライズとなる発言は見当たらず、結局、小動きのまま115.60レベルでクローズ。一方、ユーロドルは1.1341レベルでオープン。朝方はドル買い優勢の展開となり、一時1.1320まで下落するも、米金利が伸び悩むと次第に買い戻し優勢となりなえり、1.1368まで反発上昇。午後はビル・ロード・カロー・中銀総裁が「従来の資産購入プログラムは第3四半期に終了できる可能性がある」と述べると、ユーロドルの反応は鈍く、1.1360付近でレンジトレード。終盤まで動意欠いた値動きが続き、結局、1.1359レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。